

株主の皆様へ

第5期 第2四半期報告書

平成23年4月1日 ▶ 平成23年9月30日



Matsumoto KiYoshi
Holdings

目次

P1-2	トップメッセージ
P3-4	トピックス
P5-6	店舗ネットワーク
P7-8	四半期連結財務諸表
P9	株式の状況
P10	会社概要・株主メモ

あなたにとっての、いちばんへ。

1st for You.

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス
証券コード：3088

株主の皆様へ

代表取締役会長兼社長
松本 南海雄



株式会社マツモトキヨシホールディングスの第5期第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）の業績と下期に向けた経営方針をご報告するにあたり、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

株主の皆様の平素のご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

第5期 第2四半期連結累計期間の業績について

○お客様ニーズ、シーズンごとの早期商品展開や付加価値のあるプライベートブランド商品の拡販などに取り組んだことにより増収・増益となりました。

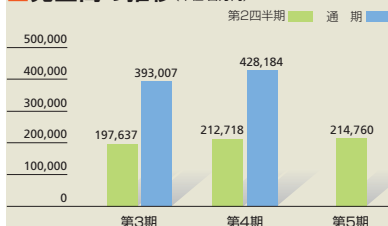
第5期第2四半期連結累計期間における日本経済の状況は、東日本大震災の影響により不安定な状態となっていた経済活動や個人消費の持ち直しの兆しが見られました。しかしながら、欧州の金融不安・米国の景気減速のほか、それらに伴う円高の進行・株価の下落などにより、景気が下振れる懸念が存在し、先行きは依然として予断を許さない状況で推移いたしました。

ドラッグストア業界におきましては、震災の影響による生活用品や夏の節電対応に伴う関連商材の需要増加など、堅調に推移したものの、雇用情勢の悪化や所得減少など、先行き不透明な状況から依然として、消費マインドの冷え込みが続いております。

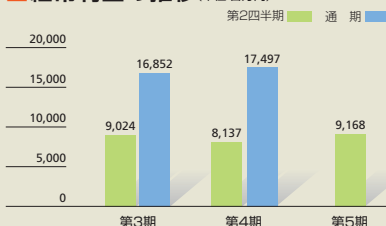
このような環境のなか、当社グループはお客様ニーズ・地域環境を反映したMKカスタマー（プライベートブランド商品）を含めた品揃えの拡充や専門人材によるカウンセリング体制の強化など、顧客満足度の向上と共に、常に新しい付加価値の創出と心のこもったサービスの提供を推進してまいりました。

第2四半期連結財務ハイライト

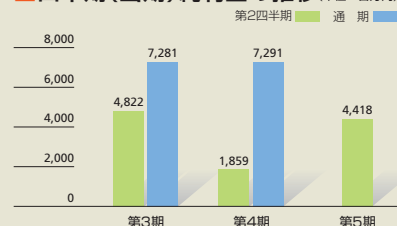
■ 売上高の推移 (単位: 百万円)



■ 経常利益の推移 (単位: 百万円)



■ 四半期(当期)純利益の推移 (単位: 百万円)



第1四半期におきましては、花粉飛散量の増加に伴う関連商材の伸長、夏の節電需要に対応した冷却商材・制汗剤及びシーズン商品の販売増加など、好調に推移いたしました。

第2四半期では、6月から引き続き、節電需要に対応した関連商材や気温上昇に伴う熱中症対策商品が好調に推移いたしましたが、8月での気温・天候要件から夏後半におけるシーズン商品の不振や震災の影響に伴い一部の都市型店舗では、アジア地域からの観光客が減少するなど、苦戦を強いられました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高2,147億60百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益82億83百万円（同16.1%増）、経常利益91億68百万円（同12.7%増）、四半期純利益44億18百万円（同137.7%増）となりました。

下期に向けた経営方針について

○収益基盤の確立に向けた3つの重点施策への対応強化とグループの最適化を捉えたエリアドミナント戦略の推進。

第5期第2四半期連結累計期間の結果を踏まえ、第3四半期以降における当社グループの経営方針は、厳

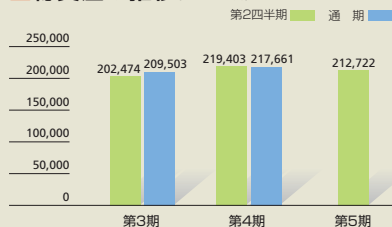
しい環境下においても安定して利益を創出できる収益基盤を確立すべく、期初に策定した3つの重点施策①ドラッグストア事業の抜本的な収益改善、②収益構造改革、③人材育成と組織の活性化を確実に推進することで、営業力強化と経営効率の改善に努めてまいります。

また、当社は、グループの最適化を捉え、同一地域・商圏内での一元管理を行うことで、経営の効率化と強固な運営体制の確立を図ることを目的にエリアドミナント戦略を推し進めております。現在、関東以外の地域におきましても、グループ各社の出店強化により、競争力を発揮できる基盤が確立しつつあります。これらを推進することで、競争力を高め、運営コストの効率化、地域ごとのきめ細やかなお客様ニーズへの対応など、各地域におけるシェア拡大を図ってまいります。

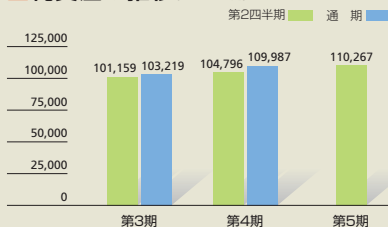
当社は、売上、利益の追求だけでなく、企業の社会的責任を全うし、社会に貢献できる企業になることも重要な経営課題と認識し、ガバナンスの強化に向けて継続的に取り組んでまいります。

株主の皆様には、ビジョンの実現に向けて新たな発想と施策で躍進を続けるマツモトキヨシホールディングスグループに、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

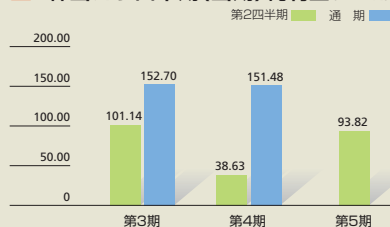
■総資産の推移 (単位:百万円)



■純資産の推移 (単位:百万円)



■1株当たり四半期(当期)純利益 (単位:円)



東日本大震災の支援（JACDS薬剤師派遣・物資の寄贈）について

1 JACDS薬剤師派遣

当社は当社が加盟しているJACDS（日本チェーンドラッグストア協会）の勤務薬剤師を代表し、東日本大震災の被災地支援として、薬剤師派遣を実施いたしました。

- 訪問先・実施日 ① 福島県：パルセ飯坂（避難所） 平成23年3月31日
② 岩手県：石巻薬剤師会仮事務所 バイタルネット石巻支店
平成23年5月24日～5月28日
- 支援内容 処方薬・OTC薬の提供と健康相談・メンタルケアの対応



2 物資の寄贈

当社では、被災地支援のため、支援物資の寄贈を実施しております。被災地で多く要望があったマスク、アルコールハンドジェル、アルコール除菌ウェットティッシュ、生理用品、歯ブラシ、傷テープ等4,590万円分相当（平成23年11月14日時点）を寄贈いたしました。

義援金活動実施について

1 東日本大震災義援金活動

当社グループの各店舗において、被災地支援のため、義援金の店頭募金活動を実施しております。お客様からお寄せいただいた義援金は日本赤十字社に贈呈いたしました。当社では引き続き、店頭募金活動を行ってまいります。

- 金額 81,143,156円（平成23年4月10日～平成23年8月31日募金分）

2 紀伊半島豪雨災害義援金活動

当社事業会社の株式会社マツモトキヨシ、株式会社ミドリ薬品、株式会社ラブドラッグスは、台風12号による紀伊半島豪雨災害に遭われた被災地を支援するため義援金活動を実施いたしました。お客様からお寄せいただいた義援金は、平成23年11月10日に三重県と和歌山県へ贈呈いたしました。

- 実施期間 平成23年9月中旬～平成23年10月31日
- 金額 781,204円

PB商品のご紹介



お客さまの声視点で開発した
マツモトキヨシグループの
オリジナル商品

MK CUSTOMER

5つのこだわり

1 安心と安全を追求しています。

原材料(成分)の厳選はもちろん、製造工程におけるチェック体制、最終試用テストを実施し、つねに安心と安全の品質を追求していきます。

2 お客さまの声を反映します。

新製品開発において、モニター等を実施し、品質や機能において、お客さまの意見をしっかり反映させていきます。

3 お求めやすい価格に設定しています。

高品質を追求しながら、できる限り価格を抑えています。お求めやすい価格であることも、大切な基準のひとつと考えます。

4 ヘルス&ビューティーを見つめた商品を提案します。

健康な生活に役立つ商品、内側から外側から美しさへの願望に応える商品など、ドラッグストアならではのセルフメディケーション商品を開発・提案していきます。

5 環境に配慮した商品開発を行っています。

環境に優しい製法や包装、地球の健康に気づかった原材料を徹底させていきます。

MK CUSTOMERの

おすすめ商品



風邪薬で風邪ウイルスを早期治療

ペラックかぜ薬(顆粒) 第2類医薬品

解熱成分アセトアミノフェンを配合。ビタミンC・B2も入って3歳から服用できるので家族で使用できる総合感冒薬です。

乾燥肌対策に保湿ケア

ウレパス20DX 第2類医薬品

かゆみを伴う乾燥肌の方におすすめ。
うるおい保湿成分尿素20%配合。



コンドロイチンで関節痛を緩和

コンドロビーアップ錠 第3類医薬品

ひざ、腰の痛みのほか、神経痛、五十肩の方にもおすすめの薬。軟骨組織を正常化して、関節部で発生する痛みを緩和します。



Matsumoto KiYoshi
Holdings

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

店舗総数 >>> **1,228** 店舗

(平成23年9月30日現在)

※当該店舗数にはFC店舗数を含んでおります。

○ ネットワーク (平成23年9月30日現在)

株式会社マツモトキヨシホールディングス

小売事業会社

株式会社マツモトキヨシ	(本社) 千葉県松戸市
株式会社エムケイ東日本販売	(本社) 宮城県仙台市
株式会社ミドリ薬品	(本社) 鹿児島県鹿児島市
株式会社ラブドラッグス	(本社) 岡山県岡山市
株式会社ぱぱす	(本社) 東京都墨田区
株式会社マツモトキヨシ甲信越販売	(本社) 長野県岡谷市
株式会社トウブドラッグ	(本社) 埼玉県越谷市
株式会社中島ファミリー薬局	(本社) 長野県須崎市

卸売事業会社

株式会社茂木薬品商会	(本社) 東京都文京区
伊東秀商事株式会社	(本社) 千葉県松戸市

その他の 事業会社

株式会社エムケイプランニング	(本社) 千葉県松戸市
株式会社マツモトキヨシ保険サービス	(本社) 千葉県柏市
株式会社ユーカリ広告	(本社) 千葉県柏市

株式会社マツモトキヨシ

マツモトキヨシ

全国に
711 店舗展開



関東エリア	560店舗
東海エリア	30店舗
関西エリア	60店舗
中国エリア	13店舗
四国エリア	5店舗
九州・沖縄エリア	43店舗

株式会社ミドリ薬品

株式会社 **ミドリ薬品**

九州・沖縄エリアに
132 店舗展開



九州・沖縄エリア	132店舗
----------	-------

株式会社ラブドラッグス



関西・中国エリアに
40 店舗展開



関西エリア	5店舗
中国エリア	35店舗

九州・沖縄エリア
マツモトキヨシ
ミドリ薬品

株式会社マツモトキヨシ甲信越販売

マツモトキヨシ 甲信越販売

東北・信越エリアに
62店舗展開



信越エリア	61店舗
北海道・東北エリア	1店舗

北海道・東北エリア

エムケイ東日本販売
マツモトキヨシ甲信越販売

株式会社中島ファミリー薬局

Nakajima

信越エリアに
13店舗展開



信越エリア	13店舗
-------	------

信越エリア

エムケイ東日本販売
マツモトキヨシ甲信越販売
中島ファミリー薬局

中国エリア

マツモトキヨシ
ラブドラッグス

北陸エリア

エムケイ東日本販売

四国エリア

マツモトキヨシ

関西エリア

マツモトキヨシ
ラブドラッグス

東海エリア

マツモトキヨシ

関東エリア

マツモトキヨシ
エムケイ東日本販売
ぱぱす
トウブドラッグ

株式会社エムケイ東日本販売

エムケイ東日本販売

東北・関東エリアを中心に
104店舗展開



北海道・東北エリア	28店舗
関東エリア	65店舗
信越エリア	8店舗
北陸エリア	3店舗

株式会社ぱぱす



関東エリアに
135店舗展開



関東エリア	135店舗
-------	-------

株式会社トウブドラッグ

トウブドラッグ

関東エリアに
31店舗展開



関東エリア	31店舗
-------	------

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 平成23年3月31日現在	当第2四半期末 平成23年9月30日現在
資産の部		
流動資産	94,665	90,654
現金及び預金	10,542	8,430
受取手形及び売掛金	11,643	10,489
商品	57,342	58,406
貯蔵品	1,775	657
その他	13,500	12,955
貸倒引当金	△ 140	△ 285
固定資産	122,995	122,067
有形固定資産	62,906	62,405
土地	41,488	41,126
その他	21,417	21,278
無形固定資産	10,140	9,655
のれん	7,024	6,729
その他	3,115	2,926
投資その他の資産	49,949	50,006
敷金及び保証金	35,541	35,240
その他	15,408	15,755
貸倒引当金	△ 999	△ 989
資産合計	217,661	212,722

科 目	前期末 平成23年3月31日現在	当第2四半期末 平成23年9月30日現在
負債の部		
流動負債	80,454	75,517
支払手形及び買掛金	54,812	55,305
短期借入金	6,400	1,800
1年内返済予定の長期借入金	372	372
未払法人税等	3,437	4,094
賞与引当金	2,635	2,927
ポイント引当金	2,122	2,544
資産除去債務	4	15
その他	10,669	8,455
固定負債	27,219	26,937
転換社債型新株予約権付社債	15,000	15,000
長期借入金	752	566
退職給付引当金	846	890
資産除去債務	3,338	3,370
その他	7,282	7,109
負債合計	107,673	102,454
純資産の部		
株主資本	109,483	109,460
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	80,289	83,261
自己株式	△ 13,757	△ 16,753
その他の包括利益累計額	△ 1,061	△ 721
その他有価証券評価差額金	△ 1,061	△ 721
新株予約権	8	14
少数株主持分	1,555	1,513
純資産合計	109,987	110,267
負債・純資産合計	217,661	212,722

1 財政状態の状況

- 当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,127億22百万円となり、前連結会計年度末と比較し49億38百万円減少となりました。主な増加要因は、商品10億63百万円です。主な減少要因は、現金及び預金21億11百万円、受取手形及び売掛金11億54百万円、貯蔵品11億18百万円です。
- 当第2四半期連結会計期間末における負債合計は1,024億54百万円となり、前連結会計年度末と比較し52億19百万円減少となりました。主な減少要因は、短期借入金46億円です。
- 当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,102億67百万円となり、前連結会計年度末と比較し2億80百万円増加となりました。主な増加要因は、四半期純利益44億18百万円です。主な減少要因は、自己株式29億95百万円、剰余金の配当14億44百万円です。

2 業績の状況

- 当第2四半期連結累計期間の業績は、震災の影響や不安定な天候要件があったものの、花粉関連商材の需要拡大、節電対応に伴う関連商品の増加やお客ニーズに合致した品揃えの拡充など、各種対応を行ってまいりました。また、販売費及び一般管理費に関しては、効率かつ販売促進活動による宣伝費の抑制に努めてまいりました。
- この結果、売上高は前年同期比で1.0%増加し、営業利益、経常利益、四半期純利益はそれぞれ前年同期比16.1%・12.7%・137.7%増加いたしました。

3 キャッシュ・フローの状況

- 営業活動によるキャッシュ・フローは98億72百万円の収入となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益81億78百万円、減価償却費22億28百万円、売上債権の減少額11億52百万円です。主なマイナス要因は、法人税等の支払額32億72百万円、未払金の減少額14億49百万円です。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは22億86百万円の支出となりました。主なプラス要因は、敷金及び保証金の回収による収入2億46百万円です。主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出12億38百万円、敷金及び保証金の差入による支出7億54百万円です。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは96億97百万円の支出となりました。主なマイナス要因は、短期借入金の減少額46億円、配当金の支払額14億42百万円です。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	当第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	212,718	214,760
売上原価	154,043	154,640
売上総利益	58,674	60,119
販売費及び一般管理費	51,542	51,836
営業利益	7,132	8,283
営業外収益	1,305	966
営業外費用	299	80
経常利益	8,137	9,168
特別利益	204	22
特別損失	3,721	1,012
税金等調整前四半期純利益	4,621	8,178
法人税、住民税及び事業税	3,839	3,954
法人税等調整額	△ 1,143	△ 310
少数株主損益調整前四半期純利益	1,925	4,534
少数株主利益	66	116
四半期純利益	1,859	4,418

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	前第2四半期 平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで	当第2四半期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,274	9,872
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,877	△ 2,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,289	△ 9,697
現金及び現金同等物の増減額	2,107	△ 2,111
現金及び現金同等物の期首残高	11,222	10,542
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,329	8,430

株式の状況

(平成23年9月30日現在)

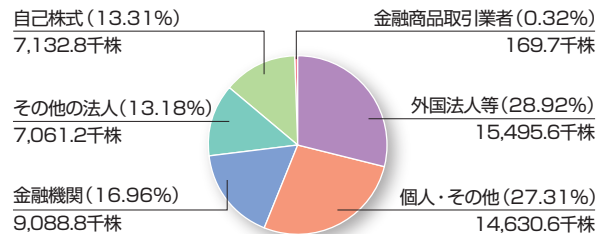
株式の状況

- 発行可能株式総数 210,000,000株
- 発行済株式総数 53,579,014株
- 株主数 19,490名
- 大株主（上位10名）

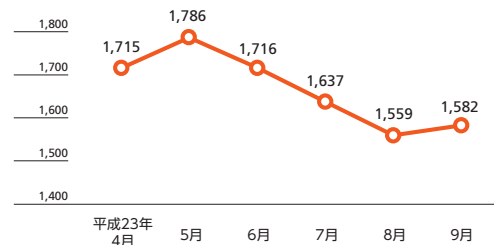
株主名	保有株式数 (単位：千株)	持株比率 (単位：%)
ノーザントラスト カンパニー（エイ ブイエフシー）サブアカウントアメ リカンクライアント	5,914.9	12.74
松本鉄男	5,615.4	12.09
松本南海雄	4,173.4	8.99
ノーザントラストカンパニーエイブ イエフシーリユーエスタックスエグ ゼンブデベンションファンズ	2,261.0	4.87
株式会社千葉銀行	2,255.4	4.86
株式会社南海公産	1,743.5	3.75
エーザイ株式会社	1,407.5	3.03
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	1,099.9	2.37
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社（信託口）	1,092.1	2.35
メロンバンクエヌエーアズエージェ ントフォーイッククライアントメロ ンオムニバスユーエスペンション	704.9	1.52

(注) 1. 当社は自己株式7,132.8千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。
2. 持株比率は、発行済株式総数から自己株式数を減じた株式数（46,446.1千株）を基準に算出し、小数第3位以下を四捨五入して記載しております。

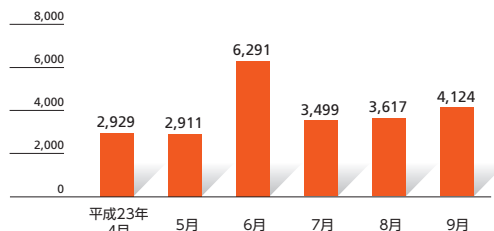
所有者別株式状況



株価の推移 (円)



出来高の推移 (千株)



(平成23年9月30日現在)

会社概要

- 名称……………株式会社マツモトキヨシホールディングス
- 所在地 ……〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1
- 電話番号 ……047-344-5110 (代表)
- 設立 ……平成19年10月1日
- 資本金 ……210億86百万円
- 事業内容 ……子会社の管理・統轄及び商品の仕入・販売
- 従業員数 ……正社員：5,212名
(連結) パート：7,189名 (8時間換算)
合 計：12,401名

(平成23年9月30日現在)

役 員

代表取締役会長兼社長	松 本 南 海 雄
専 務 取 締 役	成 田 一 夫
専 務 取 締 役	松 本 清 雄
取 締 役 相 談 役	松 本 鉄 男
取 締 役	根 津 孝 一
社 外 取 締 役	大 爺 正 博
社 外 取 締 役	小 林 諒 一
社 外 取 締 役	大 山 健 一
監 査 役 (常 勤)	大 森 哲 夫
社 外 監 査 役	鈴 木 哲
社 外 監 査 役	諸 星 健 司

株主メモ

事 業 年 度	4月1日から翌年3月31日まで
定 時 株 主 総 会	6月中
1 単 元 の 株 式 数	100株
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株 主 名 簿 管 理 人 特 別 口 座 の 管 理 機 関	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-711 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード3088)
公 告 の 方 法	電子公告 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/3088/3088.html ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

第5期中間配当に関するご案内

■ 第5期中間配当金のお知らせ

当社は、平成23年11月11日開催の当社取締役会において、第5期（平成23年4月1日～平成24年3月31日）の中間配当金の支払について以下のとおり決議されましたので、ご案内いたします。

- ・ 中間配当金 : 1株につき10円
- ・ 効力発生日ならびに支払開始日 : 平成23年12月5日（月）
- ・ 対象株主 : 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主

株主優待に関するご案内

■ 株主優待のご紹介

当社は、株主優待制度といたしまして、毎年9月末及び3月末現在の株主名簿に記載又は記録された1単元（100株）以上の株式をご所有の株主の皆様へ、マツモトキヨシの全店舗でご利用いただける「商品券」をお配りしております。なお、平成23年9月末現在の株主の皆様へは、本報告書とあわせてお送りいたしましたので、是非ともご利用下さいようお願いいたします。

※当社の株主優待制度の詳細は以下のとおりとなっております。

■ 優待内容

所有株式数	金 額
100株以上の株主様	2,000円分の商品券
500株以上の株主様	3,000円分の商品券
1,000株以上の株主様	5,000円分の商品券

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

<http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1

TEL. 047-344-5110（代表）

